

平成16年10月29日
中国電力株式会社

下関発電所1号機における配管肉厚の自主検査結果について

当社は、8月11日付経済産業省指示(「発電用火力設備の水・蒸気系配管の技術基準適合状況調査について」)に基づき、運転開始後20年以上経過した火力発電所(5発電所12ユニット)について腐食・浸食による減肉が生じる可能性のある配管部位の検査実施計画を、9月13日、経済産業省に提出し、配管肉厚の自主検査を順次実施しています。

下関発電所1号機(昭和42年3月運転開始)については、10月21日～28日まで検査を実施した結果、過熱器スプレイ配管(※1)などにおいて、国の基準を下回る部分的な減肉が3箇所確認されたため、本日中に該当部位の配管取替を行い、運転を再開する予定です。

※1 過熱器:ボイラで発生する蒸気をさらに過熱するためにボイラ内に設置された配管。
スプレイ配管:過熱器で過熱される蒸気の温度を調整するために水を送る配管。

以上

〈参考〉下関発電所1号機配管肉厚測定結果

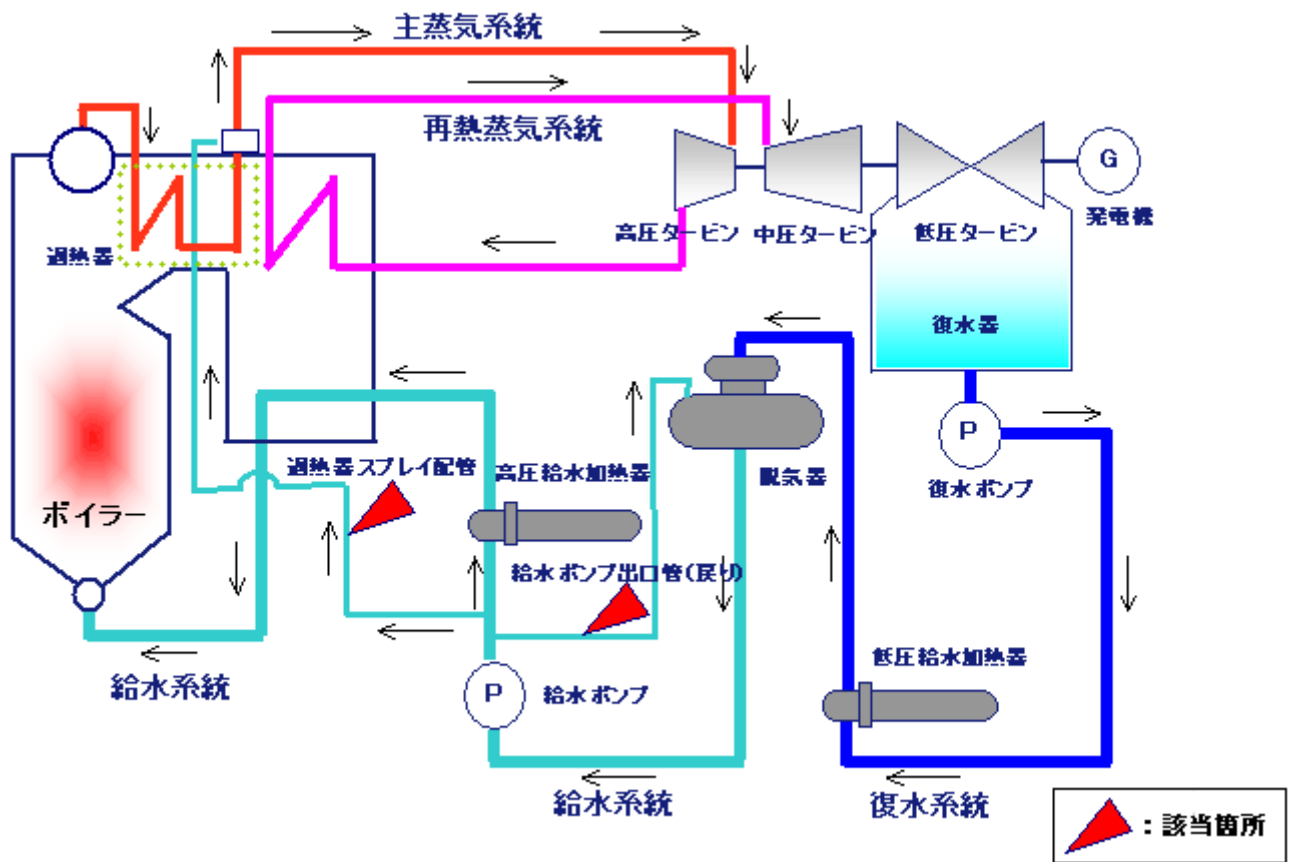
部位名		外径(mm)	肉厚(mm)	技術基準 (mm)	測定 最小値 (mm)
過熱器スプレイ配管	エルボ	76.3	9.5	8.2	7.4
		76.3	9.5	8.2	7.8
給水ポンプ出口管	オリフィス(※2)下流部	89.1	11.1	9.6	6.7

※2 オリフィス :管路の通水流量を調整するため、管路内に穴のあいた円盤を設けた箇所。

別紙:

- [1. 調査対象システムの概略図](#)
- [2. 調査対象部位の概要図](#)

調査対象システムの概略図



調査対象部位の概要図

